

フロンティア テクノロジー シリーズ
宇宙飛行機—スペースシャトルを超えて

長友信人著 丸善刊 1300 円

書名の「宇宙飛行機」と云うのは spaceplane に
対する著者の造語で、スペースシャトルで部分的
に実現された、地表と軌道の間を、地上の二点間
を飛ぶ飛行機のように何度も往復できる宇宙船の
ことである。このような「宇宙飛行機」が早期に
実現し、宇宙が身近なものとなれば「スペースか
らの天文学」の立場は今とは大幅に異なったもの
となることは確実で、天文学者にとっても、その
動向には大いに関心があることであろう。

本書のまえがきにもあるように、ここ数年、わ
が国をはじめとする世界各国で、このような新し
いタイプの宇宙船の開発計画が次々と発表されて
いる。ところが、宇宙飛行機の開発は、これまで
の宇宙工学・航空工学の境界にあたる新しい分野
であるため、特に日本では底辺が小さく、高い頂
点を支えられる基礎すらできていないのが現状の
ようである。著者は、この現状を改善し、多くの
人の関心が高まるようにと、本書を著したそうだ。
したがって、内容は、あまり高度で専門的な分野
には立ち入らず、宇宙飛行機とはどういうものな
のか、それを実現するための技術的な問題点はど
こにあるのかを、専門外の人にもわかりやすく解

説することに力点がおかれている。

こうした目的にふさわしく、文章は、比較的平
易で読みやすく、図の分量・選択も概ね適当であ
るといえる。しかしながら、図の一部には、表現
に疑問を感じるものがいくつかあるように思っ
た。たとえば図1の人工衛星の原理図は、切手の
写真を流用したりせずに、きちんとした説明図を
起こすべきであるし、図5の代表的な衛星打ち上
げ軌道の図は、本文を読まないという図なの
のかわかりにくかった。このシリーズに共通したも
のかもしれないが、多く図がかすれた線で描かれ
ていたが、デザインよりも分かりやすさを重視し
た明瞭な図を示すべきである。本文については、
軌道6要素の説明が複雑でわかりにくかったもの
の、概ねわかりやすくすらすら読み進められた。
読後、もっと詳しい話を知りたくなった点、著者
の目的を果たせるような本に仕上がっていると思
われる。ロケットや航空機のことをあまり知らない
読者にも十分興味と理解を与えられるのではな
かろうか。

前提とされる知識は、理科系を志す人ならば高
校生でも十分に理解できるレベルであり、宇宙開
発に関心を持つ多くのひと、特に、これからこの
分野に進もうかと考えている若い人たちにお勧め
する。

半田利弘（東大理天文センター）

月報だより

秋季年会の宿舎予約について

10月中旬は観光・学会シーズンで混雑が予想さ
れております。そこで、8月号掲載の宿舎案内以
外の宿舎を東急観光(株)に斡旋して頂くことにし
ました。希望される会員は東急観光(TEL 052-
264-0109, FAX 052-264-4784:担当 市川, 天
野)へ直接、9月12日までに申し込みして下さい。
現在、右記のホテルに相当数、部屋を確保してい

るそうです。場合によってはこれ以外にも探すこ
とは可能とのことです。

	ツイン	シングル
栄東急イン	8200円	10300円
丸の内東急イン	7500円	9100円
駅前モンブランホテル	7500円	8000円
第一富士ホテル		8500円

★ツインは二人使用の場合の一人当りの料金

★料金は朝食付き、税金別の料金（8月号の東急

イン関係は朝食別、税金別料金)。

★なお、東急インに関しては、東急観光が部屋を
押さえているもので、直接東急インへ問い合わ
せても、満室もしくは、上記と別料金のことが
あります。

(国枝秀世)

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご
投稿下さいますようお願いいたします。結果は必
ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属
部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4.
職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期,
6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受
付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募
上の注意, 11. その他 (待遇など)。

東京大学理学部天文学教室教官

1. 助手 1 名
3. 天文学及び天体物理学
東京大学理学部では大学院重点化の改組が進
んでおり、天文関係でも広域大講座の新設が
予定されております。これは観測面のプロジ
ェクトの展開にあてられる予定です。今回の
助手にはこの中で研究・教育に積極的役割を
果たすことを期待します。
5. (1) 決定後出来るだけ早い時期
7. 履歴書, 研究歴, 論文リスト, 主要論文別刷,
研究計画書
8. 平成 4 年 10 月 20 日
9. (1) 〒 113 東京都文京区弥生 2-11-16
東京大学理学部天文学教室
主任 内田 豊
(2) 同上 (電話 03-3812-2111 ext 4260)

東京大学理学部附属天文学教育研究センタ ー教官

1. 助手 1 名
2. (2) 木曾 (長野県木曾郡三岳村 木曾観測所)
または三鷹 (東京都三鷹市大沢 2-21-1)
3. 天文学及び天体物理学 (現員の分野は、観測
的宇宙論, 銀河, 銀河系, 恒星, 太陽, 電波,
赤外, 及びシュミット望遠鏡による天文学で
す。)
4. 天文学及び天体物理学の観測的研究及び教育
5. (1) 決定後なるべく早い時期
6. 大学院修士課程修了, 又はそれと同等以上
7. ①履歴書 ②研究歴 ③論文リスト及び主要
論文別刷 ④研究計画, 及び本人について意
見を述べられる人 2 名の氏名と連絡先 ⑤勤
務地 (木曾または三鷹) について希望のある
方は明記して下さい。
8. 平成 4 (1992) 年 10 月 20 日 (火) 必着
9. (1) 〒 181 東京都三鷹市大沢 2-21-1
東京大学理学部附属天文学教育研究センター
センター長 辻 隆
(2) 同上 (電話 0422-34-3639)
10. 封筒に「助手応募書類」と朱書きし, 簡易書
留でお送り下さい。
11. 選考は選考委員会において行います。

京都大学理学部物理学第二教室教官

1. 助手 1 名
2. (1) 天体核研究室
3. 天体核物理
5. (1) 決定後出来るだけ早い時期
7. ・履歴書 ・研究歴 ・業績リスト
・主要論文別刷 ・研究計画
・着任可能時期
・他薦の場合上記書類の他に推薦書
8. 1992 年 10 月 15 日必着

9. (1)〒 606-01 京都市左京区北白川追分町
京都大学理学部物理第二教室
主任 益川敏英
(2)佐藤文隆 (075)753-3831
10. 封筒に「公募書類在中」又は「推薦書在中」と朱書し、書留で送付のこと

NRO Workshop

「野辺山ミリ波干渉計および45 m ミリ波望遠鏡による原始惑星系円盤の研究」開催のご案内

日時：8月31日13時から9月1日17時まで
場所：国立天文台野辺山宇宙電波観測所
内容：最新の観測および理論をレビューし、日本における今後の研究を展望する
参加を希望される方、またお問い合わせは、下記世話人までお願いします。

観山正見 国立天文台理論天文学研究系
Tel 0422-34-3738
Fax 0422-34-3746
林 正彦 東京大学理学部天文学教室
Tel 03-5684-0516
Fax 03-3813-9439

小ワークショップ

Fragmentation & Star Formation II：集団的星生成

これまでの星生成の研究は、孤立した雲での一つの低質量星の形成に重点が置かれてきました。しかしながら、星の半数以上はbinary(multiple)星であることもよく知られた事実です。近年の赤外線・カメラのめざましい進歩によって、分子雲にまだ埋もれている生まれたばかりの星(赤外線源)のサーベイ観測が可能となり、巨大分子雲中の重い分子雲コアで星が集団(クラスター)で生まれている様子がまさに明らかにされつつあり

ます。どのようにbinaryまたはクラスターとして星が形成されるのかと言う重要な問題の解明が現実性をましてきています。

本ワークショップは、分子雲の分裂・収縮過程、その結果としてのmultiple starおよびstar clusterの形成の問題に重点を置き、現在どこまで明らかになっているのか、未解決の問題についてどのようなアプローチが可能か、等を議論したいと思います。

日時：1992年9月2日(水) 10:00~16:30
場所：野辺山宇宙電波観測所
世話人：梅本、中野(NRO)、長谷川(東大天文センター)
問い合わせ先：〒384-13
長野県南佐久郡南牧村野辺山
国立天文台野辺山 梅本智文
TEL 0267-63-4379 FAX 0267-98-2884

電波天文台特別公開のお知らせ

国立天文台 野辺山
電波天文学研究系
野辺山宇宙電波観測所
野辺山太陽電波観測所

当観測所では、天文知識の普及と観測所の仕事を広く知って頂くため、下記の要領で観測所の諸設備を一般の方々へ公開しますので、ご案内申し上げます。

1. 日時 1992年9月23日(祝)
午前10時から午後4時半まで
2. 内容
 - (1)見学 通常の見学コースの他、45 m 望遠鏡の観測室、10 m 5 素子干渉計の観測室、電波ヘリオグラフの観測室、観測データを処理する計算機室等を見学できます。
 - (2)展示 宇宙からやってくる電波を捕らえる観測装置の仕組みや、最近の観測結果を展示します。

- (3)講演 森本雅樹「野辺山」と日本の電波天文学
—過去, 現在, 未来—
 鵜目信三「電波ヘリオグラフで見た
 太陽」

(4)その他 質問コーナー等

3. 交通 小海線・野辺山駅下車, 徒歩 25 分
☆尚, 観測所内に食堂はありませんので, ご承
知おき下さい。また, 恐縮ですが, 各自入室
用の上履き(スリッパ等)をご持参下さい。
問い合わせ先

〒384-13 長野県南佐久郡南牧村野辺山
国立天文台野辺山
Tel 0267-63-4300(代表)
(担当) 西尾正則, 野口 卓, 半田一幸

第7回太平洋学術中間会議

標記の国際会議(VII Pacific Science Inter-
Congress)が, 1993年6月27日~7月3日に沖縄
で開催されることを会員に知らせるよう要請がま
しました。

1. 会議の性格・目的

太平洋学術会議は, 太平洋地域の住民の繁栄
と福祉に関わる問題を, 人文・社会, 自然科学
の分野で研究し, また情報交換を促進する場と
して, 4年に1度開かれている。そして1969年
からその中間にも会議が開かれるようになった。

2. メインテーマ「太平洋: 文化と自然の十字路」

サブテーマ①太平洋における文化の交流

②太平洋における種の分化, 保全

③太平洋における開発及び自然環
境保全の適正な技術と政策

3. 分科会

農業科学, 海洋科学, 植物, 生態・保全・自
然保護, 経済学, 昆虫学, 民族芸術学, 林学,
地理学, 人文科学, 情報科学, 材料科学, 気象
学, 栄養学, 固体地球学, 熱帯医学等である。

なお詳細な情報が天文学会に届いておりますの
で必要な方はお問い合わせ下さい。

1993年度「女性科学者に明るい未来をの 会・猿橋賞」の受賞候補者及び研究助成候補 者の推薦依頼

「女性科学者に明るい未来をの会」から標記の依頼
が届いております。詳細は学会事務室までお問い
合わせ下さい。

猿橋賞

1. 本賞は自然科学の分野で, 顕著な研究業績を
取めた女性科学者(ただし, 下記の推薦締切
日で50歳未満)に贈呈します。
2. 本賞は賞状とし, 副賞として賞金(30万円)
をそえます。
3. 本賞の贈呈は1年1件(1名)です。
4. 所定の用紙に受賞候補者の推薦対象となる研
究題目, 推薦理由(400字程度), 略歴, 主な
業績文献リスト, 及び, 主な論文別刷10編程
度をそえて, 本会事務所までお送りください。
5. 締切は1992年11月末日(必着)。
6. 第13回の賞贈呈式は, 1993年5月, 東京にお
いて行なう予定です。

研究助成

1. 海外のシンポジウム等に出席し, 論文を発表
する女性研究者に対し, 研究助成をいたしま
す。
2. 助成金は1件10万円とし, 年に数件としま
す。
3. 所定の用紙に推薦対象者(各締切日において
満40歳未満)の略歴, 研究業績, 国際会議名
(主催団体, 開催場所, 年月日), 発表論文題
目, 推薦理由等を記入して, 本会事務所まで
お送りください。
4. 締切は1992年11月末日と, 1993年4月末日
の2回。

女性科学者に明るい未来をの会
〒166 東京都杉並区高円寺北 4-29-2-217
電話 03-3330-2455
(FAX 兼用)

平成4年度 宇宙科学振興会研究助成募集

1. 研究助成対象

宇宙理学（地上観測を除く）及び宇宙工学（宇宙航空工学を含む）に関する独創的・先駆的な研究活動を行う若手研究者（昭和27年4月2日以降生まれの者に限る）

2. 申請方法

(1) 申請者は、個人あるいは共同研究の場合はその代表者とする。ただし、同一の研究について他の財団の助成金等を受けていないことを条件とする。

(2) 申請にあたっては、別紙様式に記入のうえ、提出するものとする。

(3) 申請書提出先

〒229 神奈川県相模原市由野台 3-1-1

宇宙科学研究所内

財団法人 宇宙科学振興会事務局

(電話) 0427-51-1126

3. 申請書受付期間

平成4年9月1日から平成4年10月31日まで（振興会事務局必着のこと）

4. 選考方法

審査会において書類選考（必要があれば申請者と面接を行う）のうえ決定する。

5. 研究助成金の決定通知

助成対象者への決定通知は、平成4年12月上旬に行う。

6. 助成件数及び助成金額 1件 300万円

7. 研究の成果及び会計の報告

助成金の受領者には、研究成果及び会計についての報告を後日求める。

〔付記〕

(1) 研究成果について刊行する場合は、本財団の援助による旨書き添え、その別刷を1部提出すること。

(2) 申請書用紙は財団事務局に請求すること。
なお、提出された申請書は返却しない。

井上フェローの採用を希望する 研究者の募集

井上科学振興財団より新たに標記のことについての連絡が、日本天文学会にありましたのでお知らせします。

財団法人井上科学振興財団では、自然科学の基礎研究に関し、新分野の展開を志す年齢45才未満の優秀な研究者に対し、研究者自身が選定した若い研究員を井上フェローとして採用し、当該研究の推進に協力させる方途を開く。

井上フェローは、全体で5名、博士号取得者（年齢35才未満）、フェローには月額30万円の研究奨励金を給付、期間は2ヶ年、但し、自己の研究室以外から選択すること。

本件につき希望者は、本年10月末日（月）までに、直接下記に連絡されたい。

財団法人 井上科学振興財団

〒150 東京都渋谷区猿楽町 11-20

TEL 03-3447-2738 FAX 03-3477-2747

計 報

本会特別会員で元理事の石田五郎氏には、去る7月27日午後4時30分滋賀県長浜市内の病院にて急性心不全の為、ご逝去されました。（享年68歳）

謹んでご冥福をお祈りするとともに会員諸氏にお知らせいたします。